

令和2年度 前期選抜の選抜・評価方法

学校番号 定8
千葉県立東葛飾高等学校 定時制の課程 普通科

1 期待する生徒像

本校を志望する動機と高校生活への意欲が明確で、本校教育に対する適性を有し、自己の能力を十分に発揮することが期待できる生徒

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	3名の評価者の個人面接 検査時間：5分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書 イの数値を調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 学籍の記録	中学校を卒業して5年を経過した場合を審議の対象とする。
イ 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。備考欄に記載のある場合は、審議の対象とする。
ウ 出欠の記録	中学校3年間の欠席日数の合計が150日を超えている場合、または第3学年の欠席日数が50日を超えている場合は、審議の対象とする。
エ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
オ 特記事項	記載内容に問題があると判断される場合は、審議の対象とする。
カ 総合所見	記載内容に問題があると判断される場合は、審議の対象とする。

(3) 面接〔30点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、アについては2点満点、イ・ウについては4点満点で評価し、3名の評価者の評価（各10点満点）を合計する。12点以下の場合には審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 社会性	規範意識がある。服装が整っている。頭髪が不自然ではない。派手な装飾品を身につけていない。
イ 協調性	入退室・面接中の態度がよい。質問に対して誠実に答えている。集団生活に適応できる。
ウ 意欲	志望の動機が適切かつ明確である。高校生活への目標が適切かつ明確である。勉学への意欲が感じられる。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の成績」、「調査書の得点」、「第2日の検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、総合的に判定する。
＜総得点の満点の内訳＞

学力検査の成績	調査書の得点	第2日の検査の得点	総得点
	評定（算式1）	面接	
500点	$(135 + \alpha - m)$ 点	30点	$(665 + \alpha - m)$ 点

（算式1） α ：県が定める評定合計の標準値95

m ：中学校評定合計平均値

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。
イ 入学許可候補者に内定した者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による内定者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

令和2年度 成人の特別入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 定8

千葉県立東葛飾高等学校 定時制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 面接	3名の評価者の個人面接 検査時間：5分
(2) 作文	字数：400～600字 時間：50分
(3) 成人の特別入学者選抜志願申請書	実施要項（様式10）により、「志願した理由」を記入したもの

2 評価項目及び評価基準

(1) 面接 [30点満点]

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、アについては2点満点、イ・ウについては4点満点で評価し、3名の評価者の評価（各10点満点）を合計したものを、総合的に判定する際の資料とする。12点以下の場合は審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 社会性	規範意識がある。服装が整っている。頭髪が不自然ではない。派手な装飾品を身につけていない。
イ 協調性	入退室・面接中の態度がよい。質問に対して誠実に答えている。集団生活に適應できる。
ウ 意欲	志望の動機が適切かつ明確である。高校生活への目標が適切かつ明確である。勉学への意欲が感じられる。

(2) 作文 [30点満点]

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、アについては3点満点、イについては2点満点、ウについては5点満点で評価し、3名の評価者の評価（各10点満点）を合計したものを、総合的に判定する際の資料とする。

評価項目	評価基準
ア 表記力	丁寧に読みやすい文字で書かれている。誤字脱字がない。正しい漢字を用いている。原稿用紙を正しく使っている。
イ 構成力	400字以上600字以内におさまっている。
ウ 思考力	主題の意図を正しく理解している。テーマに沿って自分の考えを述べている。

(3) 成人の特別入学者選抜志願申請書

評価項目	評価基準
志願の理由	本校志願の理由や高校生活への意欲を確認し、総合的に判定する際の資料とする。

3 選抜方法

成人の特別入学者選抜志願申請書等の書類の審査並びに面接及び作文の結果を資料とし、総合的に判定して選抜を行う。

令和2年度 後期選抜の選抜・評価方法

学校番号 定8

千葉県立東葛飾高等学校 定時制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 面接	3名の評価者の個人面接 検査時間：5分

2 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書 イの数値を調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 学籍の記録	中学校を卒業して5年を経過した場合を審議の対象とする。
イ 教科の学習の記録	算式1で求めた数値で評価する。備考欄に記載のある場合は、審議の対象とする。
ウ 出欠の記録	中学校3年間の欠席日数の合計が150日を超えている場合、または第3学年の欠席日数が50日を超えている場合は、審議の対象とする。
エ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
オ 特記事項	記載内容に問題があると判断される場合は、審議の対象とする。
カ 総合所見	記載内容に問題があると判断される場合は、審議の対象とする。

(3) 面接〔30点満点〕

3名の評価者が、次の3つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、アについては2点満点、イ・ウについては4点満点で評価し、3名の評価者の評価（各10点満点）を合計したものを、総合的に判定する際の資料とする。12点以下の場合は審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 社会性	規範意識がある。服装が整っている。頭髪が不自然ではない。 派手な装飾品を身につけていない。
イ 協調性	入退室・面接中の態度がよい。質問に対して誠実に答えている。 集団生活に適応できる。
ウ 意欲	志望の動機が適切かつ明確である。高校生活への目標が適切かつ明確である。 勉学への意欲が感じられる。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

令和2年度千葉県公立高等学校入学者選抜実施要項に従い判定する。

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはしない。
イ 入学許可候補者になった者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。